



桂陽高校図書室キャラクター  
「じしよじつじ」

# ほんよも No. 023



## 文庫本用の本棚が増えました！

図書室に入ってすぐ右側に**文庫本の本棚**があるのですが、これが大きくなりました。



「**文庫本**」とは、単行本（ハードカバーorソフトカバー）よりも二回りほど小さいサイズの本です。単行本として人気だった作品は、発売から数年後に文庫化して再発売されるのです。したがって、文庫になった本はみな話題になった面白いものばかり。中には最初から文庫サイズで発売される本もあります。ライトノベル系のものが多いです。この文庫用の本棚にもどんどん本を入れていくので、ぜひ手に取ってみてください。

### 【お知らせ】

試験的に図書室の Google クラスルームを作りました。ここでしか見られない本紹介などを載せています。QR コードからどうぞ。  
クラスコードは **Invitwz** です。



～「普通」ではない人たちの孤独と絶望～

# 『正欲』 (朝井リョウ)

## 内容・あらすじ

令和元年に起きたある事件。この事件を起こしたのは3人の人物でした。小学校の非常勤講師である矢田部陽平。国公立大学3年生の諸橋大也。大手食品会社勤務の佐々木佳道。

世の中の大多数が「汚らしい」と眉をひそめるようなこの事件の背景には、「普通の人たち」が想像することさえもできない、「普通ではない人たち」の孤独と絶望が隠されていました――。

## 川口先生の感想

インターネットでこの本のあらすじを調べようとしても、あまり出てきません。それも

そのはずで、あらすじや内容を紹介しづらい小説なのです。出版社のHPにも抽象的なことしか書いてありません。上のあらすじもかなりぼかしていますし、果たしてこの本を紹介していいのだろうか、というためらいもあります。こんなことを書くと気になってしまうと思いますが、そういう人はぜひ読んでみてください。おそらく、読む人によって評価が真っ二つに分かれると思います。魂に刻まれるくらいに深く残る人と、嫌悪感に顔をしかめて本を投げ捨てる人とに分かれるでしょう。私は前者でした。

最近「多様性」という言葉が流行っていますが、そんな言葉を粉々に吹っ飛ばすほどの破壊力があります。今年の本屋大賞の候補にもなっていますが、この本が大賞を取ったらメディアは伝え方に苦慮するだろうな、と思います……。

